

団体名 渡嘉敷村立阿波連小学校	連絡先 TEL: 098-987-2134 Eメール: aharenscho@oki-tokashiki.jp
---------------------------	--------------------------------------------------------------------------

1 実践事項 (①)

タイトル: 「 地域に根ざした特色ある学校 あはりっ子プロジェクト 」

2 実践内容

(1) 校内研修の充実

- 本校は、完全複式学級という特性を生かしながら、児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて授業展開の充実を図るために、児童によるガイド学習を中心とした指導の工夫改善に努めている。琉球大学の山口剛史教授を毎年招聘し、継続して助言を受けることで、児童の経年変化を見たり、教師の授業力向上を図ったりしている。

(2) 総合的な学習の時間における地域人材を活用した外部講師による指導

- ① 地域で活動する「慶良間太鼓同志会」の顧問である新垣徹氏が3年生以上を対象に和太鼓の指導をしている。練習の成果は学習発表会や地域の太鼓フェスティバルで発表した。
- ② 渡嘉敷村青年会やPTA 会員に協力をいただき、全児童を対象にエイサー指導や三線指導をしている。練習の成果は運動会や高齢者との交流会、地域の祭りで発表した。

3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)



【山口教授を招聘した研究授業】



【新垣氏による和太鼓指導】



【青年会による三線指導】

4 成果

- ガイド役とフォロワー役（ガイドではない児童）の児童がそれぞれの役割を理解し、課題に対して全員で協力し合い、主体的に取り組んでいる。
- 地域の方々が指導をしてくださることで、緊張感のある学習が行えており集中して取り組んでいる。また、指導者が良きお手本となっており、指導者に対する憧れを感じている児童も多い。

5 課題

- ガイド学習のスタイルが定期人事異動などで途切れることがなく、継続可能な取り組みになるよう、常に細かな調整や修正を加えて発展させていく。
- 村のイベントや指導者の仕事の都合により、日程調整が難しいことがある。指導者不在時は担任が指導しているが、専門的に指導できていない。